

誰でもその場で、
飲み物を片手に気軽に
参加できるスタイルです

18:00-19:45

A 会場 せんだいメディアテーク1F
オープンスクエア

B 会場 東北大学片平キャンパス
片平北門会館2Fエスパス

C 会場 東北大学百周年記念会館
川内萩ホール2階会議室

第127回 サイエンスカフェ

4/22 (金) 昆陽 雅司 准教授
[情報科学研究科]

触覚を伝えるインタフェース
～触れる・体感する未来の情報通信～

第40回 リベラルアーツサロン

5/13 (金) 島田 明夫 教授
[法学研究科]

地球の成り立ちと地球環境
問題に関する学際的検討

第128回 サイエンスカフェ

5/27 (金) 内田 隆史 教授
[農学研究科]

ちりも積もれば病気になる？
生体応答の鈍化と加齢疾患

第41回 リベラルアーツサロン

6/17 (金) 吉田 浩 教授
[経済学研究科]

「男女共同参画の経済科学」
～義務ではなく経済・経営戦略として
考える男女共同参画～

東北大学二〇二六年度前期プログラム

FREE | 参加費
無料

事前申し込みは不要です

サイエンスカフェ、リベラルアーツ
サロンは東北大学が主催する「学問
をもっと身近に、もっと楽しくする」
参加型のトークイベントです。参加
は無料、年齢制限はありません。皆
様のご参加をお待ちしています。

第129回 サイエンスカフェ

6/24 (金) 虫明 元 教授
[医学系研究科]

心の働きの多様性を科学する
～目から脳の働きを探る試み～

第130回 サイエンスカフェ

7/6 (水)* 寺田 眞浩 教授
[理学研究科]

取説「カガクブッシツ」
～正しく知ろう化学物質～

*開催曜日に注意してください

第42回 リベラルアーツサロン

7/15 (金) 村山 達也 准教授
[文学研究科]

動物と倫理学

第131回 サイエンスカフェ

8/26 (金) 齊藤 英治 教授
[原子分子材料科学
高等研究機構]

みんなが知らない「磁石の秘密」

第132回 サイエンスカフェ

9/30 (金) 富重 圭一 教授
[工学研究科]

触媒の作り方と使い方

～触媒は身の回りでひそかに働いている～

お問い合わせ・連絡先

東北大学 総務企画部広報課社会連携推進室

022-217-5132

東北大学 サイエンスカフェ



*テーマ・講師などについては予告なく変更する場合があります。
*開催の様子をカメラなどで撮影し、東北大学において、その写真をホームページなどの広報用に使用する場合がありますのでご了承ください。



TOHOKU
UNIVERSITY



サイエンスがもっと楽しくなるティータイム

科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

4/22 (金)

第127回 [A]

触覚を伝えるインタフェース
～触れる・体感する未来の情報通信～

昆陽 雅司 准教授
[情報科学研究科]



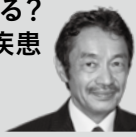
五感の1つ、触覚を人工的に再現することは可能でしょうか？分かっているようで分からない不思議な感覚、触覚のしくみと役割を紹介しながら、最新の触覚提示技術に実際に触れることで、未来の情報通信の可能性を体験していただきます。

5/27 (金)

第128回 [A]

ちりも積もれば病気になる？
生体応答の鈍化と加齢疾患

内田 隆史 教授
[農学研究科]



「流れる水は腐らない」と言いますが、酵素は生体内でおこる反応をスムーズに進め、我々の体を健康に保ちます。癌、糖尿病、認知症などの疾患と関連しているプロリン異性化酵素を例にして酵素と健康について講演します。

6/24 (金)

第129回 [C]

心の働きの多様性を科学する
～目から脳の働きを探る試み～

虫明 元 教授
[医学系研究科]



心には様々な特性があり、ヒトは多様な性格を示します。その特性は脳の働きとして調べられるようになってきました。脳の働きのバロメータになる瞳孔の反応を紹介して、心の多様性を捉える試みを一緒に議論します。

7/6 (水)

※開催日に注意してください

第130回 [A]

取説「カガクブッシュ」
～正しく知ろう化学物質～

寺田 眞浩 教授
[理学研究科]



化学物質(かがくぶっしゅ)は、分野や文脈に応じて様々な意味で用いられている言葉であるが、メディアで扱われる場合は「人工的(工業的)に合成した物質。天然物に相対する概念として用いられる」ことが多く、得てして悪者扱いである。人工的(工業的)に合成した物質が悪者扱いされる理由は？

8/26 (金)

第131回 [A]

みんなが知らない
「磁石の秘密」

齊藤 英治 教授
[原子分子材料科学
高等研究機構]



家電に自動車に宇宙探査機に、磁石は私たちの生活のいたるところで使われています。私たちと磁石との付き合いは数千年になりますが、その正体が理解されたのは現代になってからです。磁石の起源を平易に解説し、その不思議さを皆さんで考えます。

9/30 (金)

第132回 [A]

触媒の作り方と使い方
～触媒は身の回りでひそかに働いている～

富重 圭一 教授
[工学研究科]



私達の身の回りにはプラスチックや繊維、ガソリンや灯油など多くのものは触媒を用いて資源を変換して作っています。ガソリン自動車の排気ガスがかなりクリーンなのも実は触媒のおかげです。触媒の働きと形について紹介したいと思います。



文系らしく会話を楽しむサロン

文系の幅広い分野の中から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、お茶を飲みながら会話に興じる場です。

5/13 (金)

第40回 [B]

地球の成り立ちと地球環境
問題に関する学際的検討

島田 明夫 教授
[法学研究科]



温暖化をはじめとする地球規模での環境問題の広がりを防ぐため、1970年代以降様々な多国間環境協定が締結されるようになりました。地球環境問題の理解を進めるため、地球の成り立ちに遡って、様々な学問分野を総合して検討を進めて参ります。

6/17 (金)

第41回 [A]

「男女共同参画の経済科学」
～義務ではなく経済・経営戦略として
考える男女共同参画～

吉田 浩 教授
[経済学研究科]



これまで、男女共同参画については義務や権利という観点からの議論が多かったのですが、今回は、経済学の観点からどのようなメリットがあるのかという効果の側面に注目し、義務ではなくチャンスとして男女共同参画をとらえることを考えます。

7/15 (金)

第42回 [A]

動物と倫理学

村山 達也 准教授
[文学研究科]



人間にするのと同じような道徳的配慮を、人間以外の動物にもせよ、というのは極端な感じがしますが、動物は人間の好きに扱ってよいというのもまた極端でしょう。では、人間と動物とのあいだにはどのような道徳的関係が(そしてなぜ)なりたちうるのでしょうか？

[A] せんだいメディアテーク1F オープンスクエア

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 tel. 022-713-3171

地下鉄 ●仙台駅より南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分(約450メートル)
●東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分
●東西線青葉通一番町駅下車、「北1」出口から徒歩15分

バス 仙台市営バス 仙台駅前60番(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大病院」行き(系統番号がJまたはXで始まるバス)で約10分 メディアテーク前下車

[B] 東北大学片平キャンパス 片平北門会館2Fエスパス

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 tel.022-217-6090

地下鉄 ●仙台駅より南北線富沢方面行乗車「五橋駅」下車「北2」の出口から徒歩約10分
●仙台駅より東西線八木山動物公園方面行乗車「青葉通一番町駅」下車「南1」の出口から徒歩約10分

バス 仙台市営バス 仙台駅前11番のりばから「(東北大学病院前-八木山動物公園駅)-八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前-緑ヶ丘三丁目)-緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前-西高校入口)-西高校入口行」で約5分 東北大学正門前下車 徒歩3分

[C] 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール2階会議室

〒980-8576 仙台市青葉区川内40 tel. 022-795-3391

地下鉄 仙台駅より東西線国際センター駅下車「西1」出口から徒歩約5分(扇階段経由)



詳しい内容はWEBをご覧ください

東北大学 サイエンスカフェ

